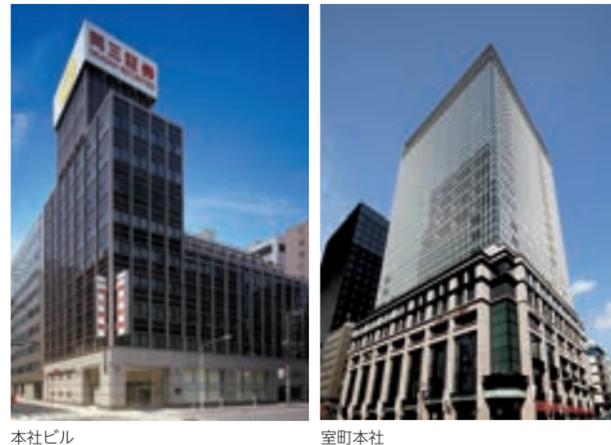


■ 会社概要 (平成27年11月20日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ  
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)  
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号  
創業 大正12年4月4日  
設立 昭和19年8月25日  
資本金 18,589,682,639円  
従業員数 3,456名 (第78期第2四半期連結ベース)  
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社ビル

室町本社

■ 株式の状況 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株  
発行済株式の総数 208,214,969株  
株主数 22,014名

大株主(上位10名)

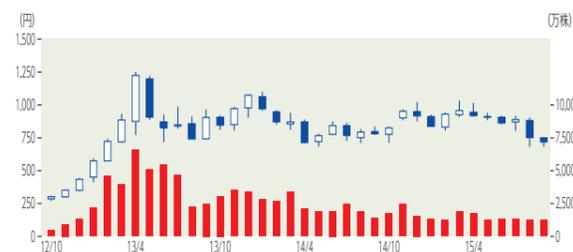
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.37
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
大同生命保険株式会社	5,500	2.75
有限会社藤精	5,266	2.64
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.47
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	4,924	2.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.43

※ 当社は、自己株式8,402,899株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移 (東証・月間)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中旬に開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
期末配当 毎年3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 1,000株  
公告方法 電子公告 (当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く) (URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なお指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

# 株主のみなさまへ

第78期中間のご報告 (平成27年4月1日~平成27年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第78期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループでは、昨年スタートした中期経営計画において掲げた「投資アドバイスのプロフェッショナル集団」としてお客さまの利益を最優先に考える企業を目指すとともに、成長戦略の要となる「岡三ブランド」の浸透による顧客基盤の拡大に、全社をあげて取り組んでいるところです。

グループの中核企業である岡三証券では、本年7月に千葉県で3店目となる新店舗「八千代支店」を開業したほか、NTT以来の大型民営化案件となる日本郵政グループ上場の際に主幹証券会社を務めるなど、投資家の皆さまとの接点の拡充に努めてまいりました。また、岡三アセットマネジメントでは、銀行や証券会社などの販売網の拡大を推進し、商品およびサービスを通じて証券専門グループとしての認知度向上に努めました。そしてさらに当社ではグループの枠を超えた取り組みとして、グループ外の証券会社との業務資本提携などによる対面ビジネスのネットワークの拡大にも取り組んでおります。

今後とも、創業以来守ってきた「お客さま大事」の経営哲学のもと、中核である対面ビジネスをより一層深化させるとともに、アセットマネジメント、オンラインビジネスおよびアライアンスの連携を通じて、これまで以上に株主のみなさまのご期待に応えられる証券グループを目指し、企業価値の向上に努めてまいりますのでございます。

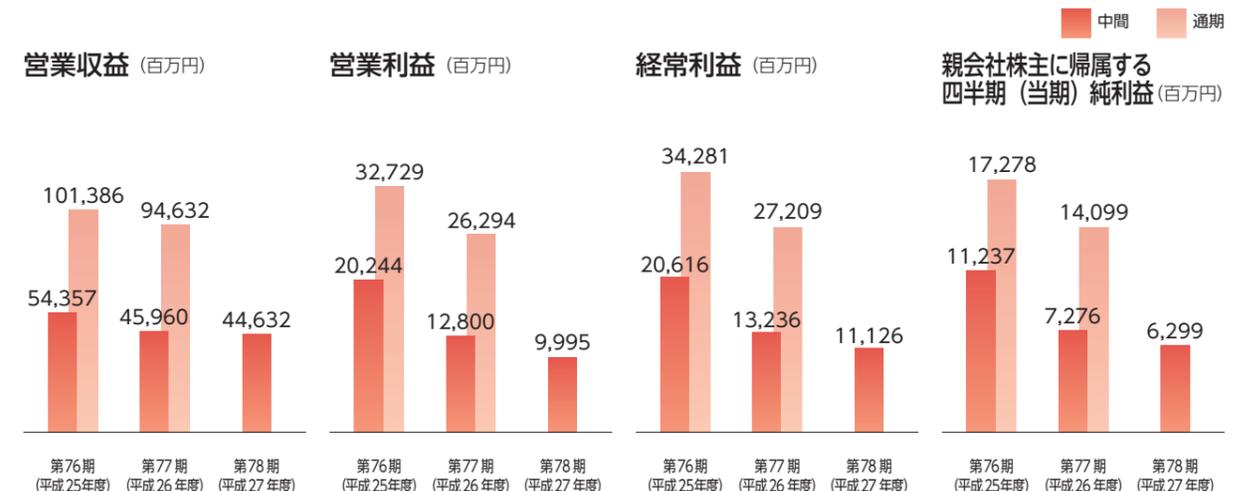
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

平成27年11月



取締役会長 加藤 精一 取締役社長 新芝 宏之

■ 業績ハイライト (連結)



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成26年9月30日)	当年度第2四半期 (平成27年9月30日)		前年度第2四半期 (平成26年9月30日)	当年度第2四半期 (平成27年9月30日)
<資産の部>			<負債の部>		
<b>流動資産</b>	<b>612,223</b>	<b>516,310</b>	<b>流動負債</b>	<b>499,139</b>	<b>396,221</b>
現金・預金	56,935	52,195	トレーディング商品	173,876	107,043
預託金	61,245	61,118	約定見返勘定	—	6,862
トレーディング商品	244,013	152,853	信用取引負債	18,497	10,060
約定見返勘定	4,240	—	有価証券担保借入金	52,114	70,161
信用取引資産	53,373	55,392	預り金	51,682	49,767
有価証券担保貸付金	180,824	184,426	受入保証金	34,160	38,203
その他の流動資産	11,590	10,323	短期借入金	158,515	105,384
<b>固定資産</b>	<b>71,854</b>	<b>81,320</b>	その他の流動負債	10,292	8,737
有形固定資産	19,115	18,963	<b>固定負債</b>	<b>25,041</b>	<b>28,635</b>
無形固定資産	8,203	8,766	<b>特別法上の準備金</b>	<b>2,479</b>	<b>2,630</b>
投資その他の資産	44,535	53,590	<b>負債合計</b>	<b>526,660</b>	<b>427,487</b>
			<純資産の部>		
			<b>株主資本</b>	<b>121,441</b>	<b>129,693</b>
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	12,913	12,982
			利益剰余金	93,649	101,898
			自己株式	△ 3,711	△ 3,777
			その他の包括利益累計額	11,002	15,377
			新株予約権	—	92
			非支配株主持分	24,974	24,980
			<b>純資産合計</b>	<b>157,418</b>	<b>170,143</b>
<b>資産合計</b>	<b>684,078</b>	<b>597,630</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>684,078</b>	<b>597,630</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業収益</b>	<b>45,960</b>	<b>44,632</b>
① 受入手数料	30,649	31,800
② トレーディング損益	13,787	11,183
金融収益	1,151	1,215
その他の営業収益	371	433
<b>金融費用</b>	<b>621</b>	<b>709</b>
<b>純営業収益</b>	<b>45,339</b>	<b>43,923</b>
③ 販売費・一般管理費	32,538	33,928
<b>営業利益</b>	<b>12,800</b>	<b>9,995</b>
営業外収益	538	1,275
営業外費用	102	144
<b>経常利益</b>	<b>13,236</b>	<b>11,126</b>
特別利益	129	182
特別損失	207	117
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>13,158</b>	<b>11,191</b>
法人税、住民税及び事業税	4,377	3,290
法人税等調整額	660	350
法人税等合計	5,038	3,641
<b>四半期純利益</b>	<b>8,120</b>	<b>7,549</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	843	1,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,276	6,299

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比2.9%減の446億32百万円となりました。

### ①受入手数料

受入手数料は前年同期比3.8%増の318億円となりました。投資信託残高に係る信託報酬および株式委託手数料などが増加しました。

### ②トレーディング損益

トレーディング損益は前年同期比18.9%減の111億83百万円となりました。これは主に、米国株式を中心とする外国株式取引の減少によります。

### ③販売費・一般管理費

販売費・一般管理費は、前年同期比4.3%増の339億28百万円となりました。これは主に、アセットマネジメントビジネスの拡大に伴う取引関係費の増加などによります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比15.9%減の111億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同13.4%減の62億99百万円となりました。

# OKASAN TOPICS

## 岡 三 ト ピ ッ ク ス

### 岡三証券グループ アナリスト向け決算説明会を初開催

当社は本年5月、アナリスト向け決算説明会を初めて開催いたしました。市場との対話の深化が求められるなか、経営トップによる説明の場を設けることで当社をより深くご理解いただき、ご評価いただけるよう取り組んでおります。

また、個人投資家の皆さまにも当社の決算内容や業務データを分かりやすくご覧いただける資料として、決算発表時には決算短信のほか「決算説明資料」をホームページに掲載しておりますので、ぜひご利用ください。



アナリスト向け決算説明会 (左上是当社社長の新芝宏之)

### 岡三証券 八千代支店を開設

岡三証券は本年7月、八千代支店(千葉県八千代市)を開設いたしました。京成本線八千代台駅に直結した地域No.1の集客力を誇る商業施設内にある新店舗では、近隣の方々の身近な場所として、地域に根ざしたサービスをご提供してまいります。

なお、八千代支店の開設により、岡三証券の拠点数は千葉県内で3拠点、全国で61拠点となりました。



「八千代支店」店頭

### 岡三証券 日本郵政グループの上場主幹事に

岡三証券は、NTT以来の大型民営化案件として本年11月に株式公開した日本郵政グループ3社(日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険)の上場に際し、「国内特定区分」の主幹事証券会社を務めました。

今後もマーケットの担い手として、発行会社と投資家の皆さまの橋渡し役としての役割を着実に果たし、投資家層の拡大への貢献に努めてまいります。



国内引受証券会社による合同説明会

### 岡三アセットマネジメント 投資信託運用残高2兆円を達成

岡三アセットマネジメントは本年4月、投資信託の運用残高が初めて2兆円を超えました。

創業以来50余年にわたり常に投資家視点に立った商品開発、資産運用等に努めてまいりました結果、166社(本年9月末現在)の販売会社を通して、多くの投資家の皆さまにサービスをご利用いただくまでに至りました。

今後も投資家の皆さまによりご満足いただける質の高い資産運用サービスをご提供し、運用残高のさらなる拡大を目指してまいります。

